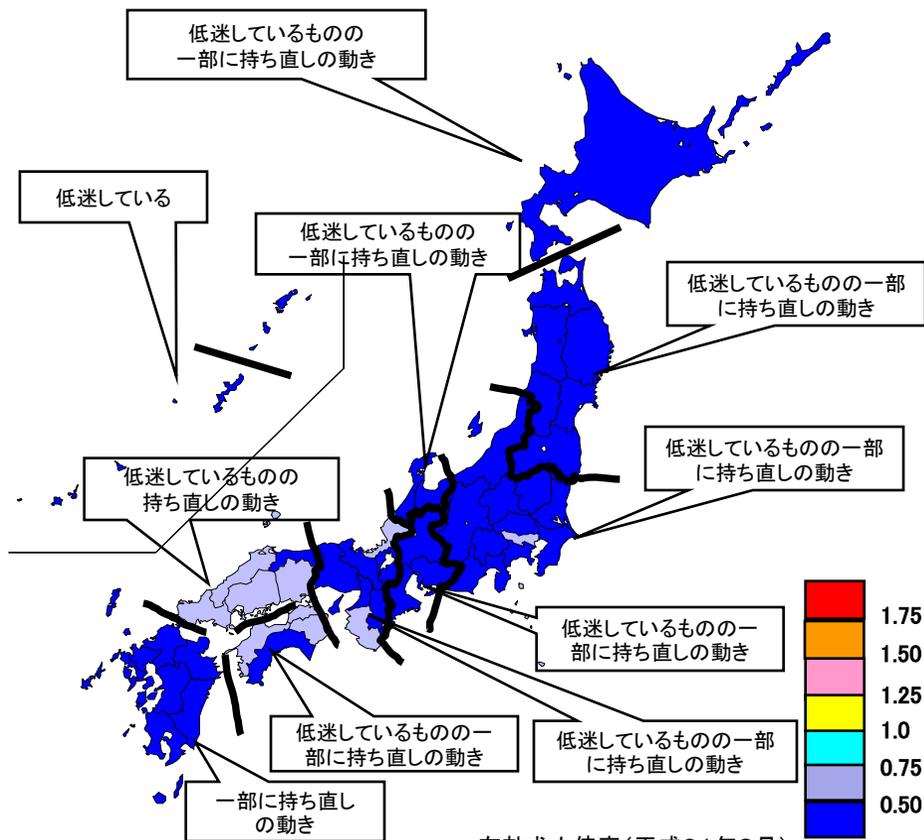


各地域の景況は低迷しているものの一部に持ち直しの動き(5地域で上方修正)

～ 生産には持ち直しの動きがみられるものの、雇用情勢は非常に厳しい状況に ～

	20年9月 (第25回)	20年12月 (第26回)	21年3月 (第27回)	21年6月 (第28回)	21年10月 (第29回)
全国	↘	↘	↘	↗	→
	ばらつきがあるものの総じて弱い動き	一段と弱い動き	後退	低迷しているものの一部に持ち直しの動き	低迷しているものの一部に持ち直しの動き



	20年12月 (第26回)	21年3月 (第27回)	21年6月 (第28回)	21年10月 (第29回)	コメント	有効求人倍率※ 全国平均 0.42
北海道	↘	↘	↗	↗	設備投資や雇用環境の厳しさが続く中で、生産に持ち直しの動き、個人消費の一部に明るい動きがみられる。	0.34
	後退している	さらに後退している	後退しているものの一部に下げ止まりの動き	低迷しているものの一部に持ち直しの動き		
東北	↘	↘	↗	↗	業況は改善みられるも依然厳しい状況。生産は一部に持ち直しの動き。設備投資は低水準。雇用は厳しい状況。個人消費は一部に動きがみられるものの、全体として弱い動き。	0.33
	後退している	さらに後退している	後退しているものの一部に下げ止まりの動き	低迷しているものの一部に持ち直しの動き		
関東	↘	↘	↗	↗	業況は依然として厳しい。生産には一部に持ち直しの動きがあるものの、設備投資は減少し、雇用はさらに悪化。個人消費は消費者の廉価品指向に歯止めがかからず、さらに弱い動き。	0.43
	さらに弱い動きとなっている	後退している	後退しているものの一部に下げ止まりの動き	低迷しているものの一部に持ち直しの動き		
中部(東海)	↘	↘	↗	→	生産、輸出は持ち直しの動き継続。設備投資には消極姿勢が目立ち、雇用は依然厳しい状況。個人消費は政策効果が一部にみられるものの全体としては依然弱い。	0.46
	一段と弱含んでいる(先行き下振れを懸念)	後退している	低迷しているものの一部に持ち直しの動き	低迷しているものの一部に持ち直しの動き		
中部(北陸)	↘	↘	↗	→	生産は一部に持ち直しの動き。設備投資は減少しており、雇用情勢は悪化。個人消費は一定の政策効果がみられるものの、総じて弱い動き。	0.49
	弱い動きとなっている	後退している	低迷しているものの一部に持ち直しの動き	低迷しているものの一部に持ち直しの動き		
近畿	↘	↘	↗	→	輸出・生産は持ち直しの動きが続き、個人消費も一部に持ち直しの兆しがみられるが、いずれも水準は低く、設備投資は大幅に減少、雇用はさらに悪化を続け、総じて低迷。	0.44
	弱い動きとなっている(先行き下振れを懸念)	後退している	低迷しているものの一部に持ち直しの動き	低迷しているものの一部に持ち直しの動き		
中国	↘	↘	↗	↗	設備投資は減少、雇用は厳しい状況が続くものの、生産は輸出向けを中心に持ち直しの動き、個人消費は低調ながら一部に持ち直しの動き。	0.53
	弱い動きとなっている	後退している	低迷しているものの一部に持ち直しの動き	低迷しているものの一部に持ち直しの動き		
四国	↘	↘	↗	→	設備投資は弱い動き。雇用も低下。個人消費では一部で経済対策の効果がみられるものの、弱い動き。生産は中国向けなど一部に持ち直しの動き。	0.52
	やや弱い動きとなっている	後退している	低迷しているものの一部に持ち直しの動き	低迷しているものの一部に持ち直しの動き		
九州	↘	↘	↗	↗	生産は持ち直して推移。業況も緩やかながら改善の動きがあるものの、設備投資は減少。雇用は厳しい状況が続いている。消費も所得の減少により厳しさが続いている。	0.38
	後退している	さらに後退している	低迷しているものの一部に持ち直しの動き	一部に持ち直しの動き		
沖縄	↘	↘	↘	↘	観光需要は、先行きに不透明感。個人消費は、買い控えがみられ弱含み。業種や企業毎に差がみられるものの、全体として業況に厳し。	0.28
	概ね横ばいで推移(一部に弱い動き)	弱含みの動き	弱い動きとなっている	低迷している		

※月間有効求人倍率 8月(季節調整値)資料 厚生労働省「職業安定業務統計」により作成